

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社島精機製作所

2022年11月

2023年3月期第2四半期決算概要

(百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	2022年3月期
売上高	17,918	15,814	30,998
営業利益	△435	△1,355	△4,268
経常利益	△207	△844	△3,400
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△511	△1,068	△3,589

※2022年3月期の営業利益は表示区分の変更後の数値を記載しています。

為替レート(円)	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	
ドル・円	144.81	111.92	期末為替レート(上段)
	131.87	109.98	平均売上レート(下段)
ユーロ・円	142.32	129.86	
	138.41	131.16	

ハイライト

事業概況

【横編機】

・アジア市場

中国ではゼロコロナ政策による都市部のロックダウンの影響で設備投資意欲が低調となり、ホールゲーム横編機の導入が停滞しました。

バングラデシュなどOEMを中心にものづくりを行う地域では、コロナ禍からの回復もあり、コンピュータ横編機の引き合いが強く、設備投資が順調に進みました。

・欧州・中東市場

イタリア市場では、経済活動の活発化に伴い、付加価値の高いコンピュータ横編機を中心に設備投資が進みました。トルコや東欧地域においても設備投資意欲が向上し、引き合いが強い状況が続いております。

【デザインシステム】

- ・アパレルデザインシステムの「SDS-ONE APEX4」は、コンピュータ横編機の売上増加に伴い、販売台数が増加しました。加えて、サブスクリプションサービスのAPEXFizは大手アパレルメーカーからのライセンス契約を中心に契約数を順調に伸ばしております。
- ・自動裁断機「P-CAM」は、海外市場を中心に需要が回復しました。

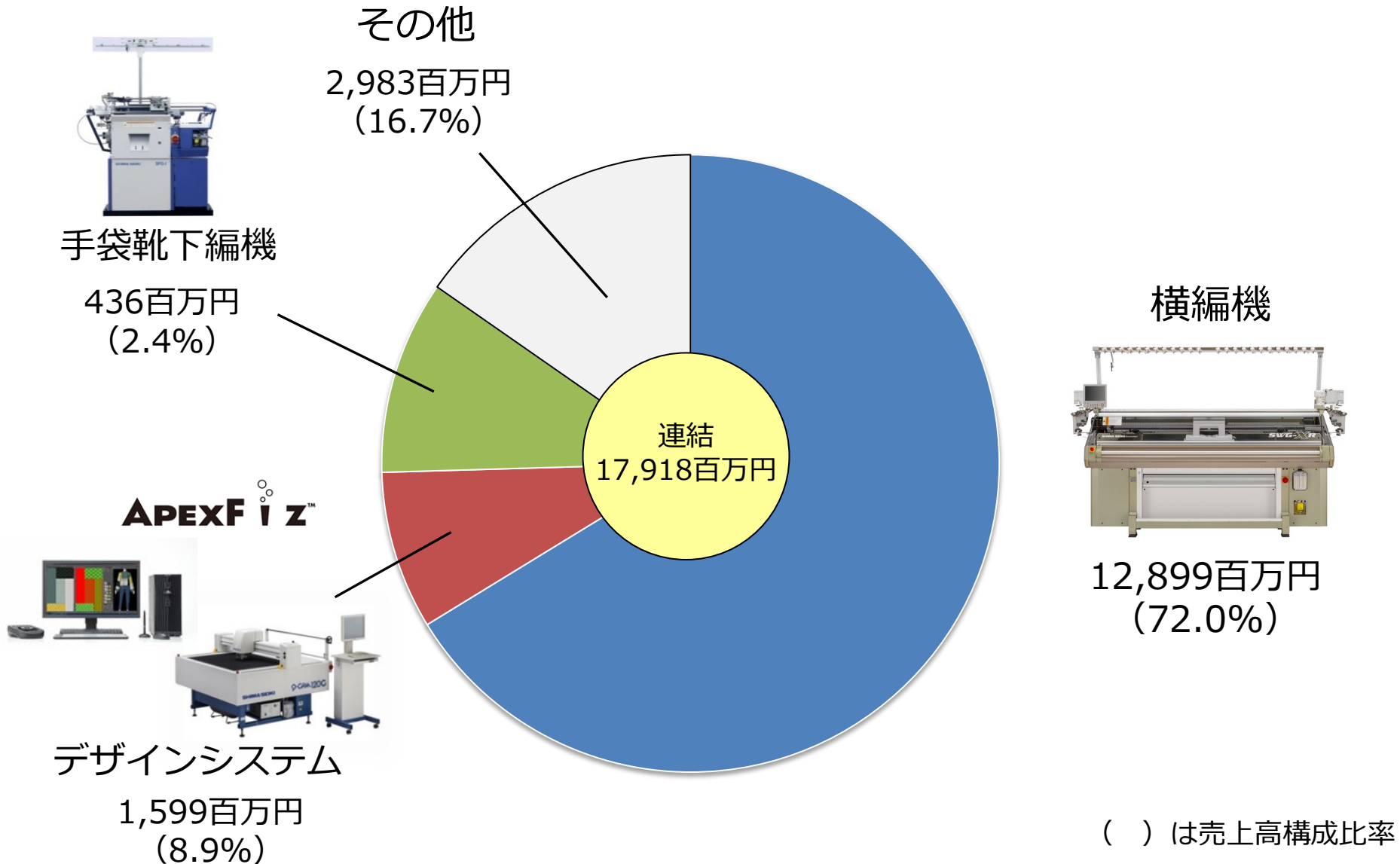
【手袋靴下編機】

- ・今期になり、大手メーカーへの設備投資が一巡したことで売上高が減少しました。

利益面

- ・工場操業度の改善により売上総利益率が回復し、販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業損失は4億35百万円となり、前年同期から減少しました。
(売上総利益率は前年同期比3.7ポイント増の38.1%に改善)

事業セグメント別売上高〔連結〕（第2四半期）



事業セグメント別売上高・営業利益（第2四半期）

(百万円)	売上高		営業利益	
	売上高	前年同期比 (%)	営業利益	前年同期比 (%)
横編機	12,899	+23.1	1,939	+85.6
デザインシステム	1,599	+22.0	354	-4.0
手袋編機	436	-72.8	9	-84.6
その他	2,983	+23.2	523	+128.3
消去			△3,263	
合計	17,918	+13.3	△435	—

事業セグメント（横編機事業）



ホールゲーム横編機

- ・一着丸ごと立体的に編み上げる「SWG-XR」「MACH2XS」
- ・環境に配慮したモノづくりを実現
- ・ファッション小物・マスク製作等に最適な「SWG-N2」

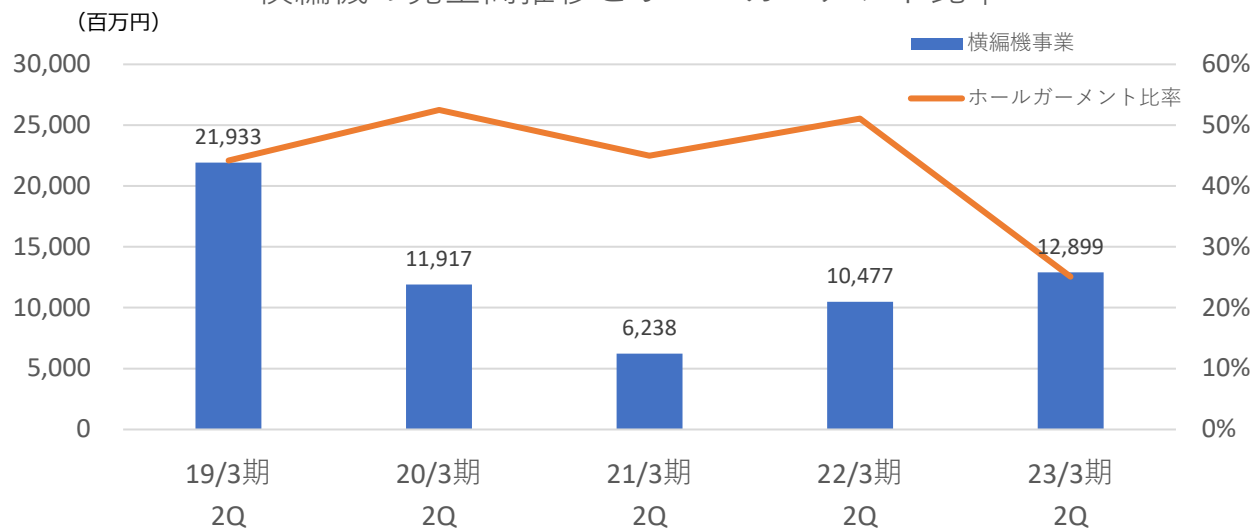


コンピュータ横編機

- ・パーツ毎に生地を編み、縫製・リンク作業で完成させる
- ・編地に付加価値を高める「SRY」「N.SIR」「N.SVR SP」「N.SVR」
- ・アジア等ボリュームゾーンの生産に用いられる「N.SSR」

ホールゲーム売上高比率は25%に低下

横編機の売上高推移とホールゲーム比率



事業セグメント（デザインシステム事業）



3Dデザインシステム「SDS-ONE APEX4」

- ・ 編み機のプログラミング、パターンCADに加えて、横編み、織物、プリント、丸編みなどのテキスタイルデザインやシミュレーションに特化したソフトウェアを搭載
- ・ APEXFizソフトウェアの販売を開始（2021/3～）

デザインソフトウェア「APEXFiz」



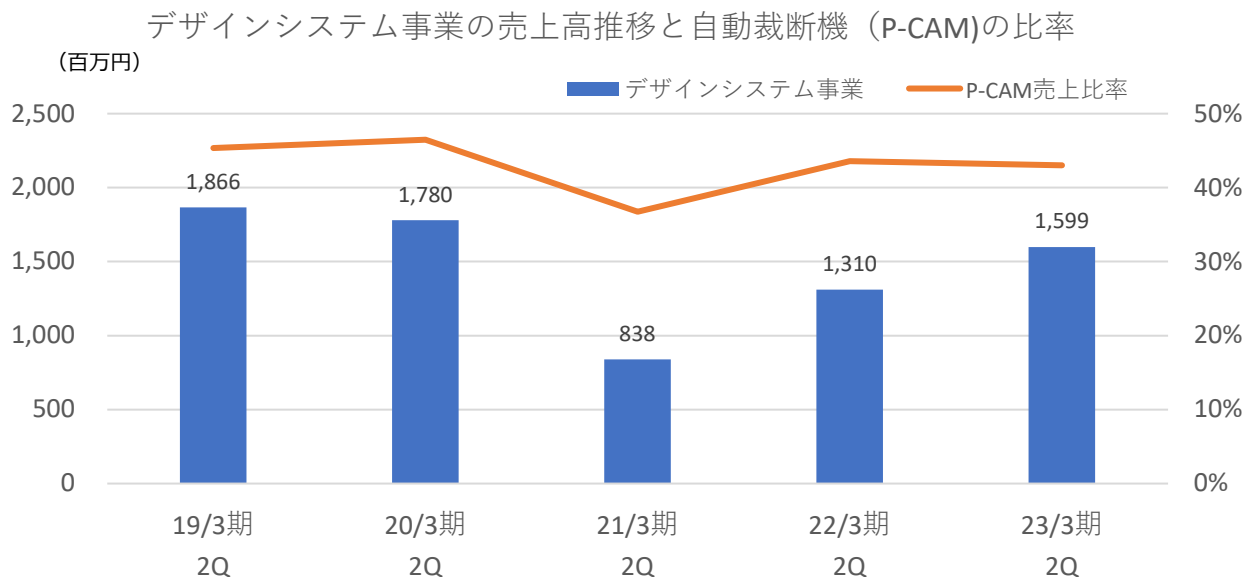
- ・ デザインシステムのサブスクリプション型ソフトウェア
- ・ お手持ちのパソコンにダウンロードし、いつでもどこでもデザインが可能に



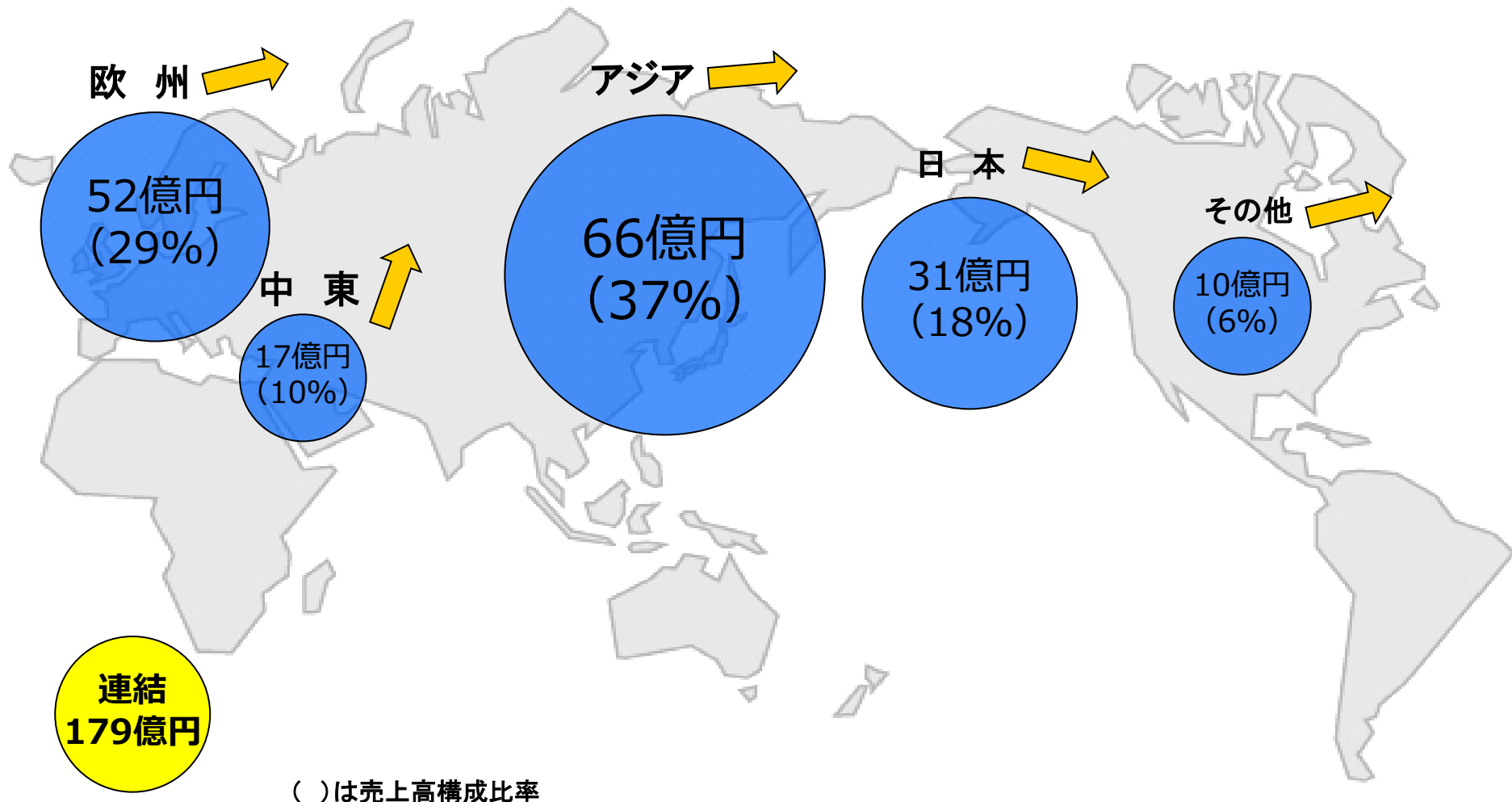
自動裁断機「P-CAM」

- ・ 自動裁断機のみならず、生地裁断の前後工程の省人化を実現するため、延反からラベリング、ピックアップ装置を提供。「Shima Cutting Solutions」としてアパレル業界、自動車、産業資材、など様々な業界へ浸透を図っている

P-CAMの売上高比率は40%程度で推移



地域別売上高構成〔連結〕（第2四半期）



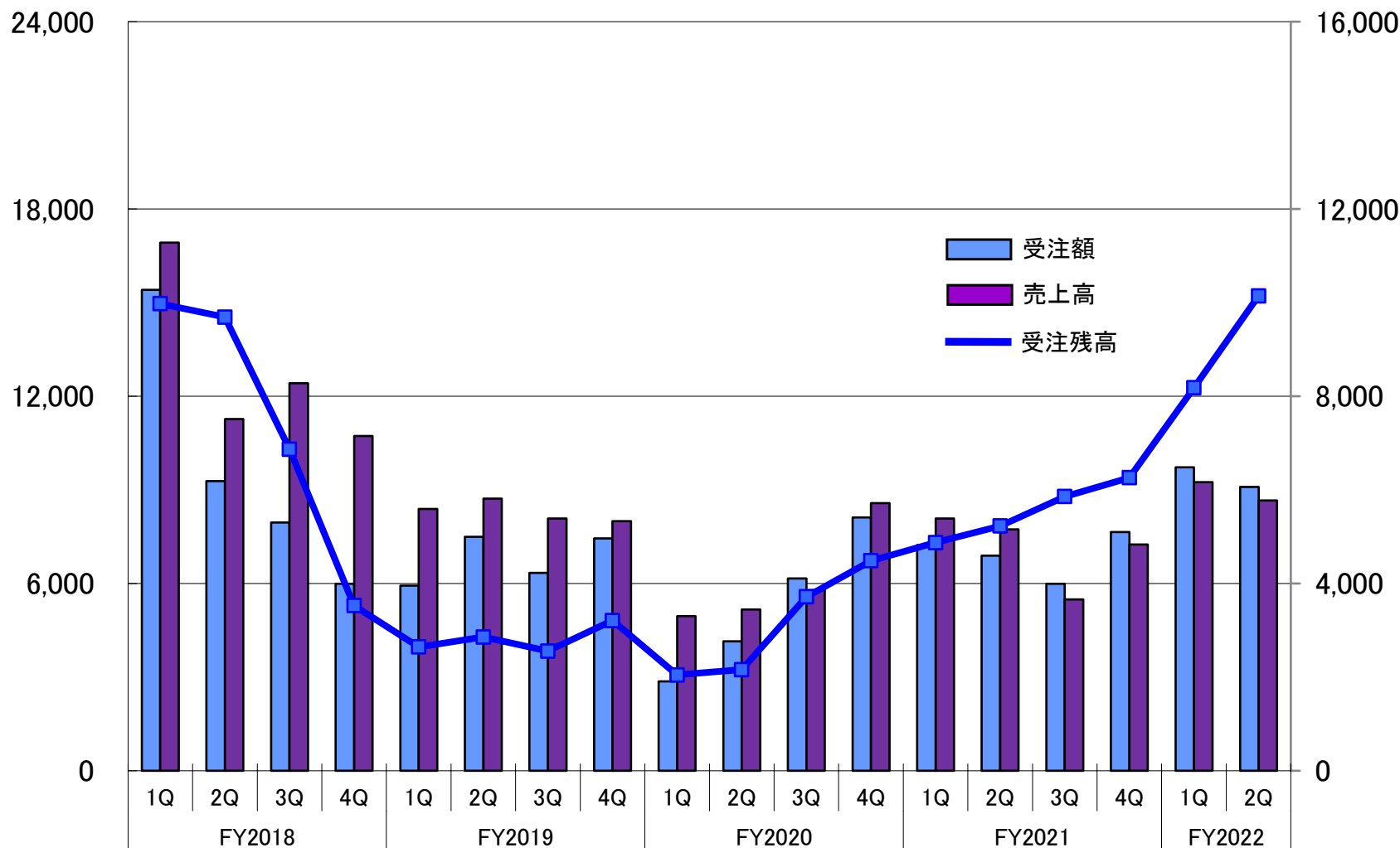
地域別売上高〔連結〕（第2四半期）

(百万円)	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	前年同期比 (%)
日 本	3,197	3,552	-10.0
欧 州	5,211	4,520	+15.3
ア ジ ア	6,689	6,546	+2.2
中 東	1,725	369	+367.5
その他(海外)	1,094	825	+32.5
合 計	17,918	15,814	+13.3

受注・売上・受注残四半期推移〔連結〕

受注・売上高(百万円)

受注残高(百万円)



四半期別業績推移〔連結〕

(百万円)	2021/3				2022/3				2023/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	4,954	5,171	5,787	8,574	8,081	7,733	6,691	8,491	9,252	8,665
営業利益	△1,970	△2,213	△2,371	△2,588	△358	△997	△1,639	△1,273	△712	276
経常利益	△1,414	△1,721	△1,777	△2,360	△154	△689	△1,473	△1,082	△516	309
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△1,463	△1,745	△1,861	△12,796	△271	△797	△1,567	△952	△686	174

(百万円) ※前期及び当第1四半期の営業利益は表示区分変更後の数値を記載しています(2022.10.31公表の決算短信9ページ参照)

受注高	2,868	4,153	6,160	8,120	7,235	6,897	5,994	7,651	9,726	9,093
受注残高	2,048	2,163	3,716	4,489	4,877	5,229	5,858	6,260	8,186	10,145

貸借対照表〔連結〕（第2四半期末）

現金及び預金 第2四半期末20,573百万円（前期末24,339百万円）で、前期末より3,765百万円減少
 売上債権 第2四半期末44,899百万円（前期末39,498百万円）で、前期末より5,401百万円増加
 棚卸資産 第2四半期末18,685百万円（前期末15,098百万円）で、前期末より3,586百万円増加
 自己資本比率 86.9%（前期末87.2%）

（百万円）	2023年3月期 （第2四半期末）	2022年3月期 期末	増減
流動資産	80,693	74,536	6,157
固定資産	26,380	27,273	△892
（有形固定資産）	16,172	16,250	△78
（無形固定資産）	2,234	2,114	119
（投資その他の資産）	7,973	8,907	△934
資産合計	107,074	101,809	5,264
流動負債	9,495	8,188	1,307
固定負債	4,462	4,825	△362
負債合計	13,958	13,013	944
株主資本	85,214	85,899	△685
その他の包括利益累計額	7,863	2,862	5,000
新株予約権	19	16	3
非支配株主持分	18	17	0
純資産合計	93,115	88,795	4,320
負債及び純資産合計	107,074	101,809	5,264

（百万円未満切り捨て表示）

キャッシュ・フロー計算書〔連結〕

営業活動によるキャッシュ・フロー 売上債権、棚卸資産の増加により、49億33百万円の資金の減少
 投資活動によるキャッシュ・フロー 投資有価証券売却による収入により、5億13百万円の資金の増加
 財務活動によるキャッシュ・フロー リース債務の返済、配当金の支払いにより、6億65百万円の資金の減少
 現金及び現金同等物の期末残高 前期末に比べ37億49百万円減少しました。

(百万円)

項 目	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,933	2,079
投資活動によるキャッシュ・フロー	513	△863
財務活動によるキャッシュ・フロー	△665	△4,793
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,336	1
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△3,749	△3,576
現金及び現金同等物の期首残高	24,271	25,582
現金及び現金同等物の期末残高	20,521	22,006

(百万円未満切り捨て表示)

2023年3月期業績計画〔連結〕

最近の業績動向を踏まえ、
2022年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしました。

	(百万円)		(百万円)
	2023年3月期	前年比 (%)	2022年3月期
売上高	44,500	+43.6	30,998
営業利益	1,000	—	△4,268
経常利益	1,600	—	△3,400
親会社株主に 帰属する当期純利益	800	—	△3,589

通期計画の前提 為替レート 135円/ドル 135円/ユーロ

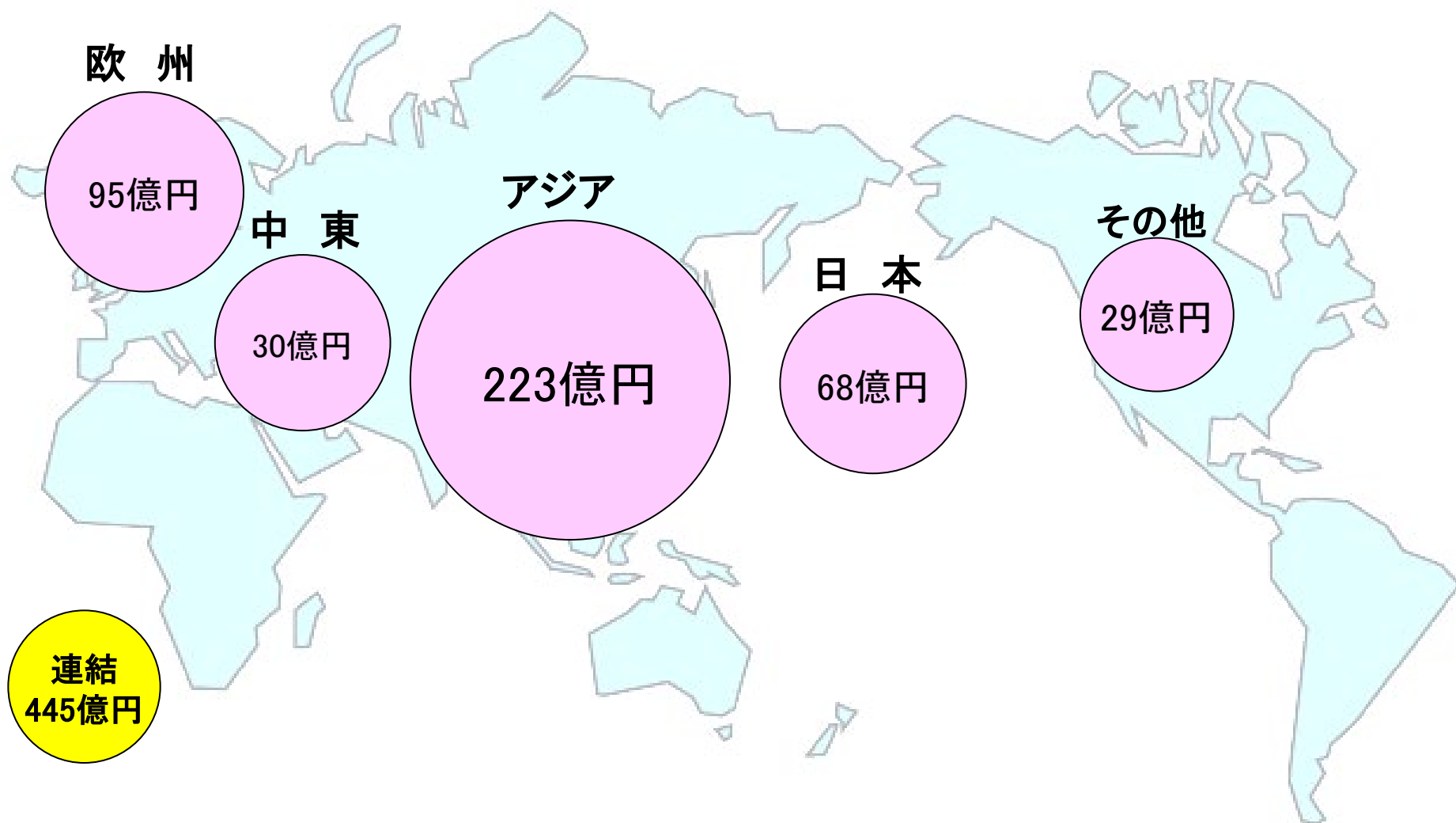
為替が1円変動した場合の営業利益への感応度 米ドル35百万円 ユーロ5百万円

2023年3月期業績計画〔連結〕

【事業セグメント別】

(百万円)	売上高	前期比 (%)	営業利益	前期比 (%)
	通 期		通 期	
横 編 機	34,700	+67.7	5,800	+850.5
デザインシステム	3,200	+11.5	700	-4.3
手袋靴下編機	900	-63.2	30	+32.4
そ の 他	5,700	+14.2	1,000	+89.6
消 去			△6,530	
合 計	44,500	+43.6	1,000	—

2023年3月期業績計画〔連結〕【地域別売上高】

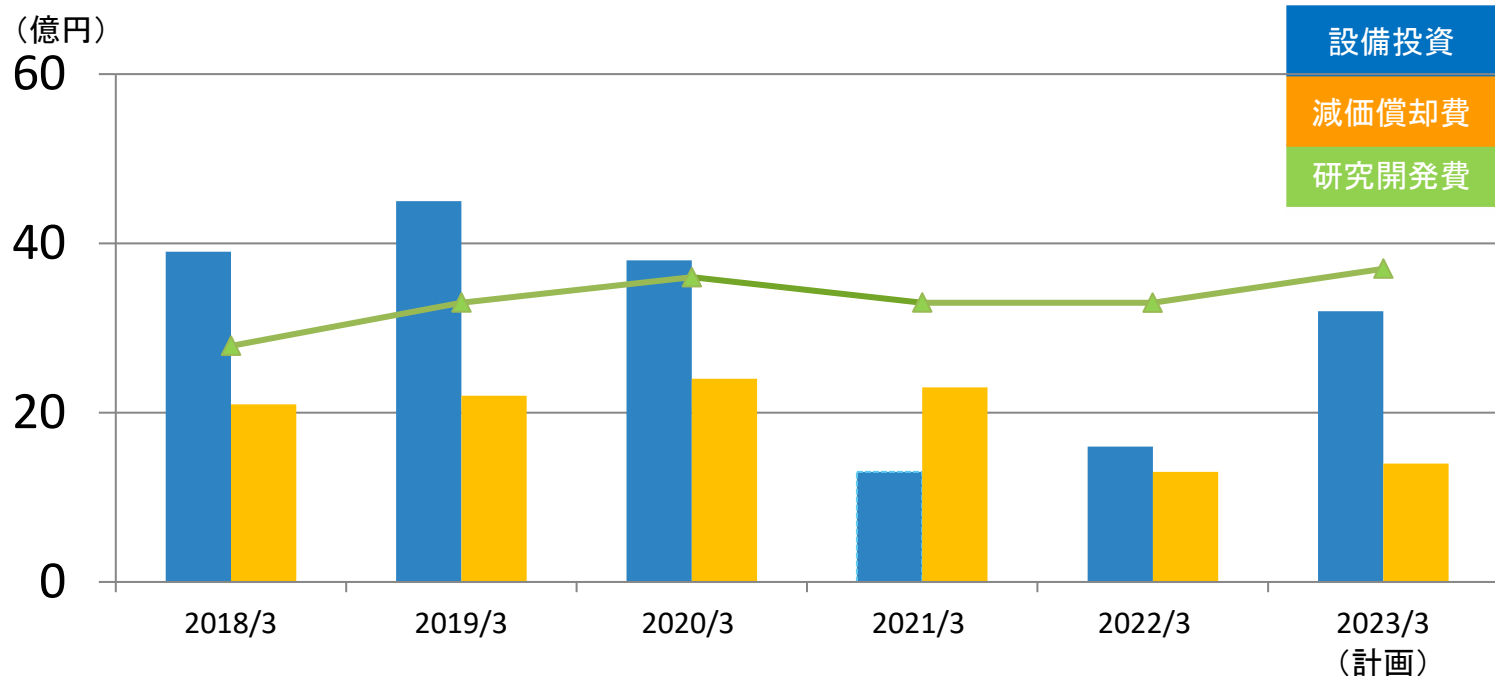


研究開発費・設備投資等の推移〔連結〕

開発スピードはゆるめずに

23年3月期第2四半期（実績） 設備投資6.1億円（リース資産0.7億円含む）
減価償却費6.7億円、研究開発費18.1億円

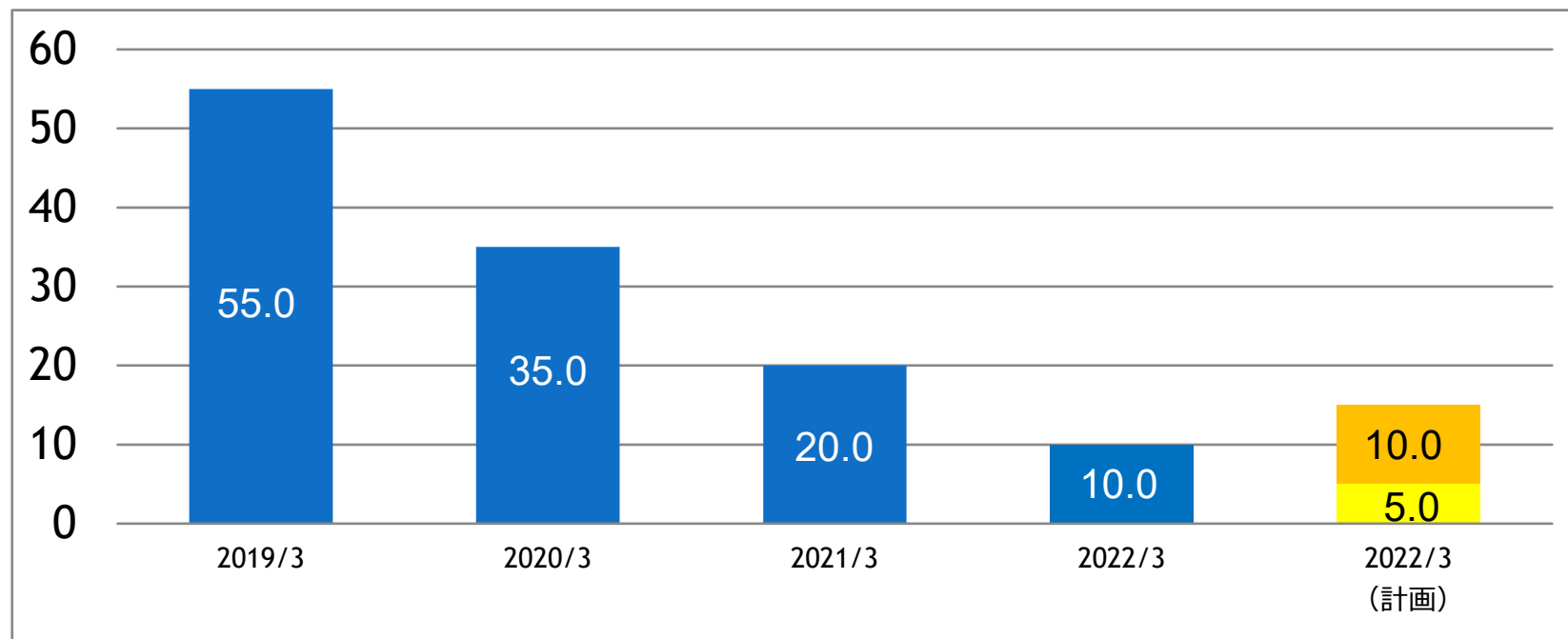
23年3月期（計画） 設備投資32億円（リース資産17億円含む）
減価償却費14億円、研究開発費37億円



株主還元

2023年3月期 中間配当金5円 期末配当金10円(予定)

(円)



創立60周年イベントを開催

①本社で記念イベントを開催

9月1日～11月30日の3か月間、当社本社ビルにおいてお客様に新たな提案をするべく、様々な展示や体験を公開。

内容

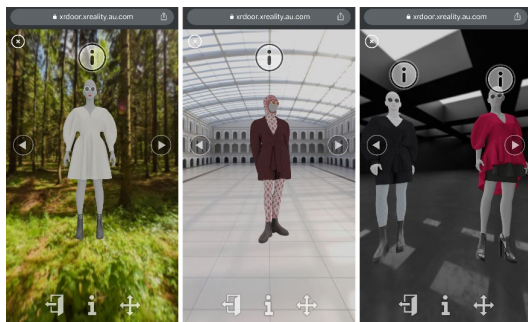
- ・ 当社の歴史／コンセプト展示
- ・ 特殊演出のバーチャルファッションショー
- ・ X R（クロスリアリティ）体験
- ・ 関連会社におけるサステナブルな取り組み
- ・ 最新機種「SWG-XR」の実機展示、サンプル展示
- ・ 試作機のサンプル展示



創立60周年イベントを開催

②オンライン特設サイトでもコンテンツが充実

本社までお越しいただくことが困難な方も楽しんでいただけるよう、11月30日（予定）まで特設ウェブサイトを開設しています。



いつでもどこでも楽しめるXRコンテンツ

- ・バーチャルファッションショーのオンライン視聴
- ・リアルとバーチャルが融合したXR技術をお手持ちの端末で体験可能
- ・本社に展示のサンプルや360度VRショールームでは、登場するサンプルの詳細情報を閲覧が可能

創立60周年記念特設サイトURL
<https://www.shimaseiki.co.jp/60th/>



オンラインイベントの動画をアーカイブ配信

- ・当社の取り組みにご協力いただいている関係者の基調講演
- ・糸の検索サービス「yarnbank」にご登録の糸メーカーによるオンラインプレゼンテーション
- ・当社が提唱するソリューションの概要、サービスの活用事例の紹介

オンラインイベント アーカイブ配信URL
<https://www.shimaseiki.co.jp/60th/event/archive/>



サステナビリティ関連

・ TCFD提言への賛同を表明

2050年 カーボンニュートラル達成
へ向けた対応策を策定

気候変動問題に対する管理体制の整備
事業への影響と対応策の開示
温室効果ガス排出量やKPI情報を開示



・ サステナビリティ委員会を設置

2022年 6月 執行役員を構成員として発足
気候変動に関する様々な課題への対応を行う

SHIMA SEIKI

本資料に記載されている当社の計画および業績の見通し、戦略などは、発表日時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により大きく異なる可能性がありますことを、予めご承知おきください。